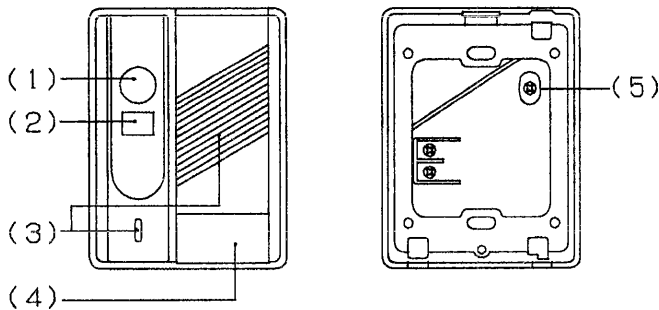
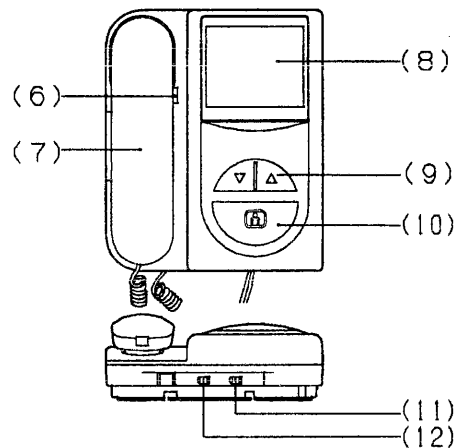
TOSHIBA 東芝インターホン取扱説明書

<table>
<tr><td rowspan="3">対象機種</td><td>親子セット　HTV3300MD　(HTV3300MとHTV3000Dのセット)</td></tr>
<tr><td>親　機　HTV3300M</td></tr>
<tr><td>子　機　HTV3000D</td></tr>
</table>

このたびは東芝インターホンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めのインターホンを正しくご使用していただくために、ご使用の前に「取扱説明書」と「安全上のご注意」および「製品への表示」をよくお読みください。　なお、お読みになったあとは必ず保管してください。

各部のなまえとはたらき

子機HTV3000D

親機HTV3300M

(1) カメラ部
被写体の明るさに応じて感度を自動的に調整し、映像を映し出します。(自動感度調整機能)
赤外発光ダイオードを内蔵していますので、夜間でも外部照明なしで映像を映し出します。
カメラの撮像範囲については、「取り付けかた」及び「知っておいていただきたいこと」の欄をご覧ください。

(2) 赤外発光ダイオード内蔵部
カメラ部が動作すると、常時点灯します。(赤く見えます。)

(3) スピーカ／マイク

(4) 呼出ボタン
呼び出すときにこのボタンを押します。
このボタンを押すと親機から呼出音（チャイム音）が鳴ると同時に子機のカメラ部が作動し、親機のモニタ画面にカメラ部でキャッチした映像が映し出されます。

(5) カメラ角度調節ねじ
子機のカメラ角度を約18°上方向、または、下方向に調節でき、カメラの撮影範囲を変えることができます。

(注)モニタカメラ（HTV3000C)は別売です。

(6) 音量調節つまみ
呼出音（チャイム音）の音量を大中小3段階に調節できます。

(7) 送受器
送受器を取り上げると、子機との間で通話ができます。映像は約60秒で自動的に切れますが、通話は継続してできます。
(増設したモニタカメラや親機との間では通話できません。)

(8) モニタ画面（CRT）
子機またはモニタカメラでキャッチした映像を映し出します。

(9) 逆光補正ボタン(手動)
背景が明るすぎたり、暗すぎたりしてよく見えないときに使用します。ボタンの△側を押して子機のカメラ感度をあげるか、▽側を押してさげるかして、いちばん見やすい状態に調節してください。

(10) モニタボタン
子機またはモニタカメラの様子を室内から見たいとき、このボタンを押すと約60秒間映ります。ボタンを続けて押すことで、順送り（例えば、子機1台、モニタカメラ2台接続時、子機1⇒モニタカメラ1⇒モニタカメラ2⇒OFF）で画面が切り替わります。

(11) ブライト調整つまみ
モニタ画面の明るさを3段階に調節できます。

(12) コントラスト調節つまみ
モニタ画面の濃淡を3段階に調節できます。

工事店様へ	工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

特にご注意を

●親機／子機、モニタカメラ間、親機／増設親機間の配線は雷や他の機器の電線からの誘導電圧により機器破壊・誤動作・雑音混入・画質劣化をさける為、屋外架空配線やＡＣ１００Ｖ等の電力線及び電話機、その他機器の電線との並行配線はおやめください。

●電灯線式のチャイムやインターホンの配線はＡＣ１００Ｖ等の高電圧がかかっている場合がある為、そのまま使用する事はできません。お取り付けになった電気工事店にご相談ください。誤って、親機／子機間、親機／増設親機間、親機／呼出増設用スピーカ間の通信線にＡＣ１００Ｖの電圧が加わると親機、子機共に修理不可能な損傷が発生します。

※電灯線式のチャイムやインターホンとは、今までに一度も電池交換をしたことがない機器等です。特に電源直結式の機器は電源コードやプラグがないので電池式の機器と間違う危険がありますので、くわしくは販売店や電気工事店におたずねください。

●本体は分解しないでください。内部に高電圧回路部があり、非常に危険です。電源をはずしても、内部の電気回路に高電圧が残留している事がありますので、絶対に分解しないでください。

●電源は必ず家庭用のＡＣ１００Ｖのコンセント、または屋内配線に接続してください。その他の動力用やインバータ式などの電源に接続しますと、破壊・雑音混入・画像乱れが発生する事があります。

●本体を落下させないでください。モニタ等にガラスを使用した部品があり割れたり、その他回路不良が発生する事があります。この場合には直ちに電源プラグを抜き、販売店や電気工事店にご相談ください。

●放送局などの送信アンテナの近くでは、電波が混入し映像が乱れたり、音声が混入する場合があります。

●電子レンジや携帯電話など、強い電磁波、電波が出る近くで使用すると、映像が乱れる場合があります。このような機器からは、できるだけ離して設置してください。

■親機は次の場所には取り付けないでください。

●電気・ガス・石油ストーブなどの暖房器具の真上やその付近。　●直射日光のあたる場所。

●製氷倉庫など０℃以下になる場所。　●風呂場、脱衣所など湿気の高い場所。　●ガスやほこりが特に多い場所。

●水や薬品がかかるおそれがある場所。

■子機を取り付ける際、取付面との防水性を確保する為、子機の上・側面の取付枠と取付面をコーキングしてください。
尚、子機の地面側（下面側）はコーキングしないでください。
内部に入った水を外部に流出させるための水抜き穴がふさがり故障の原因になります。

■子機は防雨形（ＪＩＳ　Ｃ　０９２０　保護等級３）です。直接ホースなどで水をかけないでください。
直接水をかけますと故障の原因になります。

知っておいていただきたいこと

●呼出ボタンやモニタボタンを押されて映像が出るとき、カメラの自動感度調整が働くまで約５秒の時間がかかります。
この期間中に、呼出ボタンが押されると呼出音が鳴りません。この場合は、約５秒経過後にもう一度操作してください。
逆光補正ボタンの操作は、自動感度調整が働いた後に操作してください。映像が出た直後の自動感度調整が動作中に操作すると感度設定が正常に動作しなくなります。この場合は、一度通話を終了して画面を消してからもう一度操作してください。

●カメラの自動感度調整は、一度逆光補正ボタンを押すと手動で設定した逆光補正の明るさが継続します。通話を終了すると、手動の逆光補正は解除されます。

●本製品はインターホン用途として設計されていますので、監視カメラ等の様に連続使用する事はできません。

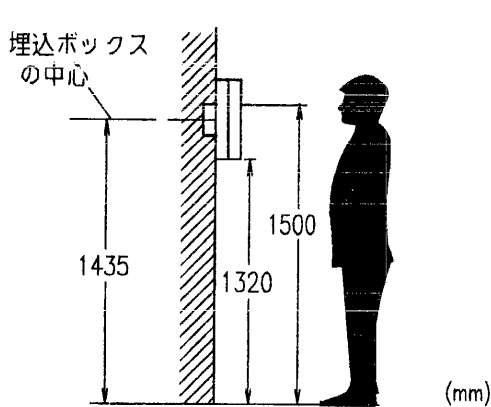
●子機の周囲の気温差によって子機レンズ部が結露し、親機の映りが悪くなる事があります。結露がなくなれば回復します。

●子機に内蔵している照明用赤外発光ダイオードの光の照射範囲は、カメラの撮像範囲よりも狭いため、周囲が暗くなると昼間よりも映る範囲が狭くなります。（５０ｃｍ離れて水平約４０ｃｍ、垂直約３０ｃｍ）

●親機を２台接続している場合、他方の親機が通話中にはもう一方の親機は使用できません。他方の親機が通話を終了してから、再度操作をやり直してください。

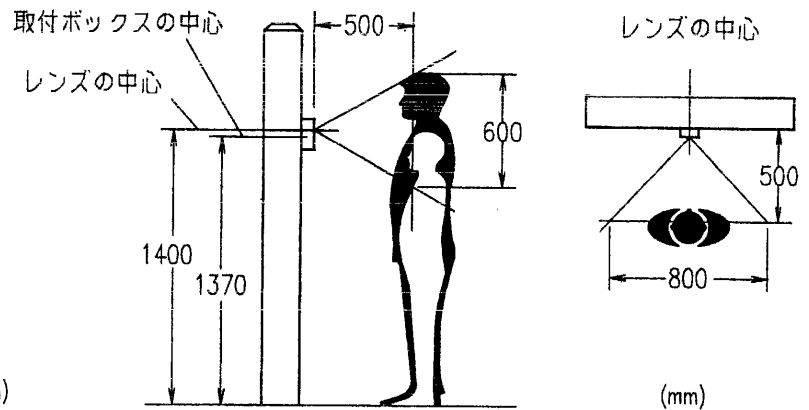
取り付けかた

■親機の取り付け位置について

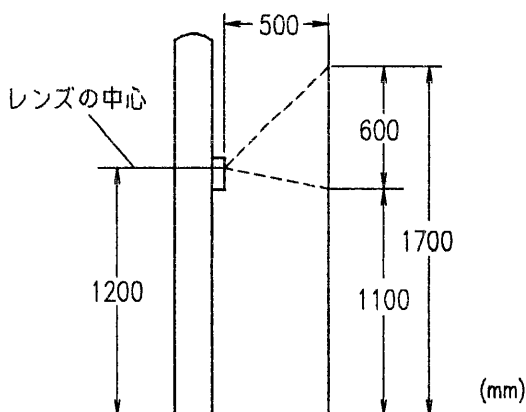
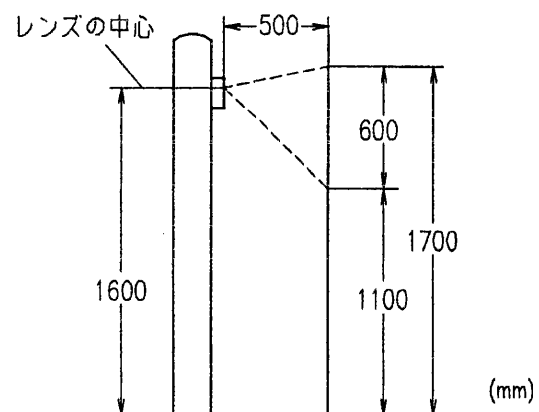
親機の設置高さは、モニタ部の中心が目の高さになる約１５００mmが標準的です。この場合、取付金具の中心（スイッチボックスの中心）が床面から１４３５mm高さとなります。

■子機の取り付け位置について

子機の設置高さは、レンズ部が地面から約１４００mmが標準的です。この場合、取付枠の中心（スイッチボックスの中心）が地面から１３７０mmの高さとなります。

●標準的な取り付け高さ

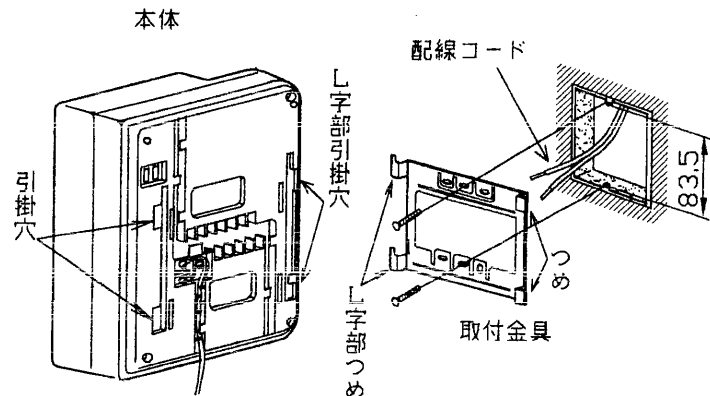
●カメラに映る範囲及び標準的な取り付け高さ

■子機のカメラ角度調節について

子機背面のカメラ角度調節ねじをゆるめ、カメラレンズを上方向、または、下方向に移動させて、ねじを締め付けます。下記の寸法を参考にして、カメラ角度を調節してください。（出荷時のカメラ角度は、レンズの中心から５０ｃｍ離れて上方向約３０ｃｍ、下方向約３０ｃｍが映るようにしてあります。）

●カメラ角度を上方向へ移動した場合の
カメラに映る範囲及び取り付け高さ

●カメラ角度を下方向へ移動した場合の
カメラに映る範囲及び取り付け高さ

ご注意：モニタカメラの画角及び調節角度については、モニタカメラの取扱説明書をご覧ください。

<生産完了 2010年06月23日>
HTV3300M (3 / 8)

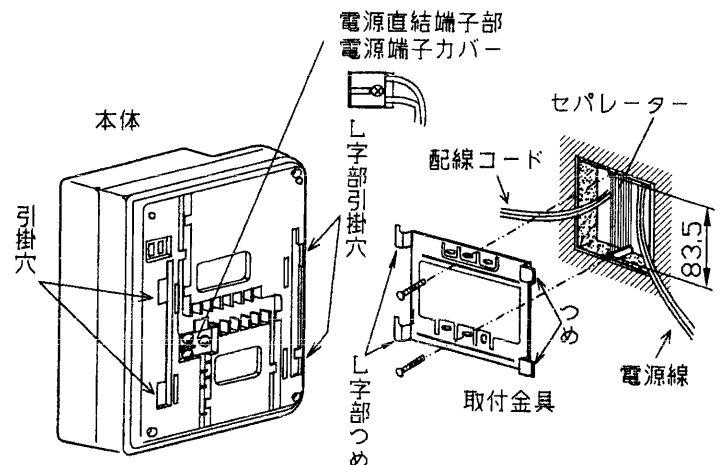
■親機の取り付けかた

1．本体裏面に付いている取付金具をはずします。
2．取付金具を付属のねじでＪＩＳ１個用スイッチボックス、または壁面に取り付けます。
3．本体裏面の親機／増設親機設定スイッチを接続する台数に応じて設定します。
（設定方法は、接続のしかたの欄をご覧ください。）
4、右図を参考にして、取付金具のL字部つめを本体裏面の引っかけ穴に取り付けます。
5、本体を取付金具に引っかけた状態で配線コードを端子説明を参考にして、端子に結線します。
6．本体を取付金具側に倒しながら取付金具に取り付けます。
7．送受器コードのプラグを本体と送受器に差込み、送受器を本体に掛けます。
8．子機を配線した後、電源プラグをコンセントに差込みます。

■電源線を親機に直結するとき

（この工事は電気工事士の資格が必要です。資格を持たない人が工事をする事は、法律で禁止されています。）

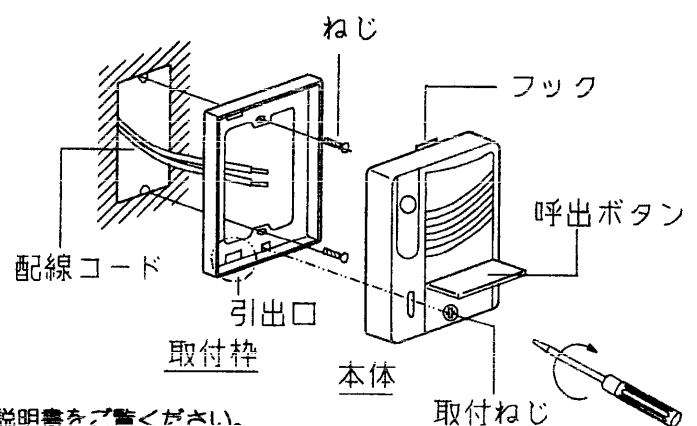
●電源線（ＡＣ１００Ｖ）と配線コードを同一ボックスに入線する場合、スイッチボックスはセパレータ付きを必ず使用し、電源線と配線コードが混触しないようにしてください。

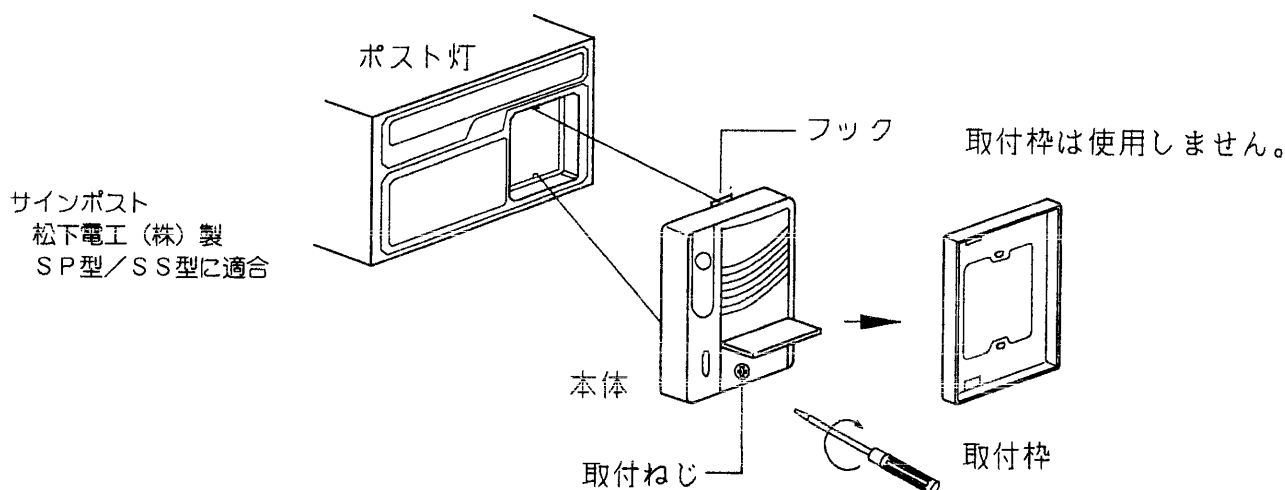
●電源線は親機本体裏面にある電源端子カバーを取り外し、電源コードを取り外してから電源端子に結線してください。最後に必ず電源端子カバーを元の状態に取り付けてください。

電源直結端子部
電源端子カバー
本体
セパレーター
配線コード
L字部引掛穴
引掛穴
83,5
つめ
L字部つめ
取付金具
電源線

■電源線を結線する場合は以下内容にご注意ください。（火災、感電の原因となります。）
●電源線はΦ１．０～Φ２．０mm単芯銅線を使用してください。
●電源を入れたまま工事をしないでください。
●電源端子以外の端子に電源線を結線しないでください。

■子機の取り付けかた

1．呼出ボタンを開き、取付ねじをゆるめ、本体から取付枠をはずします。
2．取付枠を付属のねじでＪＩＳ１個用スイッチボックス、または壁面に取り付けます。
3．配線コードを端子に結線します。露出配線をする場合は、取付枠下側の引出口より引き出します。
4．本体上部のフックを取付枠に合わせてからはめ込み、取付ねじで固定し、呼出ボタンを閉じます。

ねじ
フック
呼出ボタン
配線コード
引出口
取付枠
本体
取付ねじ

ご注意：モニタカメラの取り付けかたは、モニタカメラの取扱説明書をご覧ください。

■ポスト灯への取り付けかた

1．子機の呼出ボタンを開き、取付ねじをゆるめて、本体から取付枠をはずします。

2．配線後、本体上部のフックをポスト灯に合わせてから、はめ込み、本体の取付ねじで固定し、呼出ボタンを閉じます。

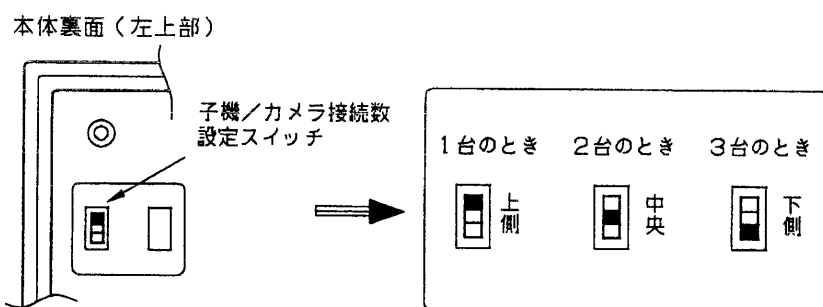
接続のしかた

●呼出増設用スピーカ（ＨＪＳ１００２：別売）を使用しますと子機から呼ばれたときに呼出増設用スピーカからも呼出音が鳴ります。（通話はできません。）

●親機／子機またはモニタカメラ（ＨＴＶ３０００Ｃ：別売）間の配線は、平行２芯ケーブルを使用することで良好な画像が得られますが、途中で他の種類のケーブルと接続、分岐、平行の２芯を１本ずつ引き離したりしますと、画像が乱れたり、画質が悪くなる場合があります。また、同軸ケーブルは使用できません。

■子機またはモニタカメラ（ＨＴＶ３０００Ｃ：別売）を増設する場合

子機１台に加えて、子機またはモニタカメラ（ＨＴＶ３０００Ｃ：別売）を最大２台まで接続できます。接続台数により、親機本体裏面左上部にある子機／カメラ接続数設定スイッチの設定方法が異なりますので、下記をご覧の上、必ず設定してください。（出荷時、スイッチの位置は上側に設定しています。）

ご注意：モニタカメラを接続した場合、モニタカメラには、呼出・通話機能はありませんので、モニタカメラからの呼出、通話はできません。

■親機を増設する場合

増設親機として、親機に加えて、モニタ親機（ＨＴＶ３０００Ｍ：別売）または通話専用室内機（ＨＴＶ３０００Ｔ：別売）を１台増設できます。モニタ親機を増設する場合、モニタ親機の親機／増設親機設定スイッチ（本体裏面左上部）を下側に設定してください。（出荷時、スイッチは上側に設定しています。）通話専用室内機には、設定スイッチはありませんので、そのまま接続してください。

ご注意：モニタ親機または通話専用室内機を接続した場合、室内間の呼出・通話はできません。（子機からの呼出と子機との通話のみ可能です。）また、室内間の配線には極性がありますので、次頁の接続図を参照の上、接続願います。

■最大接続例

子機1
HTV3000D
親機
HTV3300M
増設親機
HTV3000M
通話専用室内機
HTV3000T
子機2
HTV3000D
モニタカメラ1
HTV3000C
または
●どちらか1台を接続できます
呼出増設用
スピーカ
HJS1002
●どちらか1台を接続できます
子機3
HTV3000D
モニタカメラ2
HTV3000C
または
●どちらか1台を接続できます

スイッチを下側にセット（子機/カメラ接続数が3台の為、下側にセットします。）
スイッチを下側にセット（増設する親機は下側にセットします。）

HTV3000D
HTV3300M
無極性
有極性
HTV3000M
HTV3000T
HTV3000D
HTV3000C
または
●どちらか1台を接続できます
AC100V
AC100V
HJS1002
無極性
●どちらか1台を接続できます
HTV3000D
HTV3000C
または
●どちらか1台を接続できます
AC100V

ご注意　●親機・増設親機間の呼出・通話はできません
（子機からの呼出・通話は可能です）
●モニタカメラからの呼出・通話はできません

使いかた

■子機から呼ばれたとき

子機の呼出ボタンが押されると

全ての親機から呼出音が鳴り、子機のカメラの映像が映ります。

送受器を取り上げ、通話します。

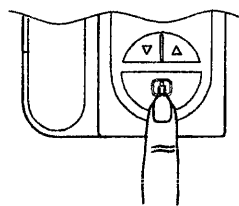
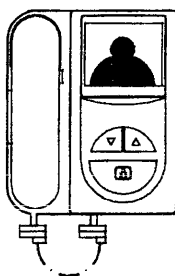
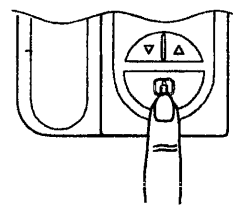
通話が終わりましたら、送受器を正しい位置に戻します。

＊このとき子機側でも呼出音が小さく聞こえ、呼出を確認できます。

＊呼出増設用スピーカを接続した場合、親機と同じ呼出音が鳴ります。

●子機を３台接続した場合、子機１からの呼出音（ピンポン音：１回）
子機２からの呼出音（ピンポン音：２回）
子機３からの呼出音（ピンポン音：３回）となります。

●通話中に他の子機から呼ばれると、送受器から、呼出確認音（プー音）が鳴ります。呼出確認音も鳴る回数が異なりますので、どこから呼ばれたか判別できます。確認音が鳴ってから、約３０秒の間に、一旦通話を終了し、再度、送受器を取り上げると、自動的に呼ばれた子機につながります。

■子機またはモニタカメラ（ＨＴＶ３０００Ｃ：別売）周辺の様子を見たいとき（モニタ機能を使うとき）

送受器を掛けた状態でモニタボタンを押します。

モニタ画面に子機のカメラの映像が映ります。

もう一度モニタボタンを押すと子機１台の場合は、映像は消えます。子機／モニタカメラの合計が２台以上の場合は、モニタボタンを続けて押す事で、下記の様に順送りに画面が切り替わります。操作しなければ、約６０秒で自動的に消えます。

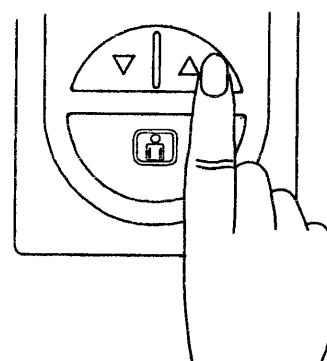
●子機／モニタカメラ接続台数によって、モニタボタンを押すごとに、下記の様に順送りに画面が切り替わります。

１台（例：子機１台のみ）　　　　　　　：子機１⇒ＯＦＦ
２台（例：子機１台／モニタカメラ１台）：子機１⇒モニタカメラ１⇒ＯＦＦ
３台（例：子機１台／モニタカメラ２台）：子機１⇒モニタカメラ１⇒モニタカメラ２⇒ＯＦＦ

●必ず送受器を掛けた状態で操作してください。送受器を上げた状態で操作しますと、接続されている機器の映像がＯＮ／ＯＦＦするだけで、映像は切り替わりません。

●子機を２台以上接続している場合、例えば、子機１をモニタ中に子機２から呼ばれると、呼出音が鳴り、自動的に子機２の画面に切り替わります。送受器を取り上げ、通話してください。
●モニタ中の子機から呼ばれると、呼出音が鳴ります。送受器を取り上げ、通話してください。

■子機用手動逆光補正機能を使うとき

背景が明るい逆光状態で顔が暗く見えているときに明るく見ることができます。
ボタンの△側を押し続けると、画面が明るく、▽側を押し続けると画面が暗くなります。いちばん見やすい状態に調節してください。

ご注意
この機能は、モニタ画面に子機からの映像を映し出している場合に、動作します。
モニタカメラからの映像を映し出している場合は動作しません。

■モニタ画面のタイマー時間一覧

子機から呼ばれて送受器を取り上げない場合。	約３０秒
外の様子を見るためにモニタボタンを押した場合。	約６０秒
送受器を取り上げて子機と通話する場合。 （約６０秒で画面の映像は消えますが、通話は継続してできます。映像を映し出す場合は、再度モニタボタンを押してください。）	

<生産完了 2010年06月23日>

修理サービス

アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店（工事店）または東芝家電修理ご相談センター（０１２０－１０４８－４１：フリーダイヤル）にお問い合わせください。

その際は製品の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

修理を依頼される前に、次の点についてもう一度お調べください。

■呼び出しも通話もできないとき

●親機の電源プラグが抜けていませんか。

●親機や子機の配線が端子からはずれていませんか。

■呼出音が鳴らないとき

●親機の送受器がはずれていたり、不完全な掛けかたになっていませんか。

■映像が不鮮明なとき

●親機の逆光補正、画質調節がずれていませんか。

●カメラ前面、モニタ表面が汚れていませんか。

お手入れのしかた

●本体はやわらかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは薄めた中性洗剤を浸した布をよくしぼってからふいてください。

●本体をいためますので、シンナー、アルコールなどの薬品や化学ぞうきんでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。特にカメラ部やモニタ画面の透明樹脂部は薬品に侵されて曇りが発生する場合がありますのでご注意ください。

仕様

●通話方式　子機拡声形同時通話式

●電　　源　ＡＣ１００Ｖ５０／６０Ｈｚ

●消費電力　待受時０．７Ｗ、最大時１５Ｗ

●呼出信号　電子チャイム音（音量３段切換）

●配　　線　親機～子機, ﾓﾆﾀｶﾒﾗ間　２線無極性
親機～増設親機間　３線有極性
親機～呼出増設用スピーカ間　２線無極性

●通達距離（最大）

線種	断面積(mm²)	0.3	0.5	0.75	1.25
	線径φ(mm)	0.65	0.8	1.0	1.2
距離	親機～子機, ﾓﾆﾀｶﾒﾗ間 トータル 親機～増設親機間　距離(m)	５０		１００以下	
	親機～呼出増設用ｽﾋﾟｰｶ(m)	150	250	300	600

●使用温度範囲　親　機　０℃～＋４０℃
子　機　－１０℃～＋５０℃

●設置場所　親　機　屋内専用（壁掛形）
子　機　屋内、屋外兼用（防雨形）

●外観色調　親　機　ピュアホワイト
５．０Ｙ　９．３／０．５
（マンセル近似値）
子　機　ピジョングレー
１．０Ｙ　４．０／０．５
（マンセル近似値）

●外観材質　親　機　ＡＢＳ樹脂、アクリル樹脂
子　機　ＡＢＳ樹脂、アクリル樹脂

●画　　面　４インチ偏平ブラウン管
（親　機）　映像タイマー　呼出時　約３０秒
通話、モニタ時　約６０秒

●カ メ ラ　固体撮像素子
（子　機）　広角レンズ　固定マウント
撮像範囲　５０ｃｍ離れて水平約８０ｃｍ、垂直約６０ｃｍ
角度調整により、垂直を上５０ｃｍ、下１０ｃｍ又は、上１０ｃｍ、下５０ｃｍに変更可
照明用赤外発光ダイオード内蔵
（夜間は５０ｃｍ離れて水平約４０ｃｍ、垂直約３０ｃｍ）

●寸　　法　親　機　幅190×縦230×奥行78
（mm）　子　機　幅 98×縦129×奥行36

●質　　量　親　機　約１５００ｇ
子　機　約　２５０ｇ

●付 属 品　取扱説明書（安全上のご注意）
東芝家電お客様ご相談センター一覧表
取付金具（本体に付属）
小ねじ　Ｍ４×３０　４本
木ねじ　φ３．８×２０　４本

東芝ライテック株式会社　住宅機器事業部　〒１４０-８６６０ 東京都品川区南品川２－２－１３ 南品川ＪＮビル

（４１４１７）Ａ